

令和2年度
第3回定期総会議案書

一般社団法人
新潟県言語聴覚士会

目 次

議事

<審議事項>

第 1 号議案 令和元年度事業報告及び収支決算, 監査報告に関する件

第 2 号議案 定款の改定に関する件

第 3 号議案 新役員を選任に関する件

<報告事項>

報告 1 新会長, 副会長等の選定および新組織体制に関する件

報告 2 令和 2 年事業計画および収支予算に関する件

報告 3 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う本会の方針に関する件

(第1号議案 令和元年度事業報告および収支決算, 監査報告に関する件)

令和元年度事業報告

1. 県士会全体 <会長> 佐藤厚

- (1) 新潟県リハビリテーション専門職協議会, 地域包括ケア支援専門職協議会の活動に参画し, 地域包括ケアシステムの推進に努めた.
- (2) 失語症者向け意思疎通支援者養成事業を推進し, 支援者養成指導者研修に2名の受講者を派遣した.
- (3) 本会運営に際し, 令和2年度からの年会費増額について会員に提唱し, 承諾を得た.
- (4) 2022年日本言語聴覚学会準備委員会を立ち上げた.
- (5) 業務の多様化に伴い, 理事会組織改定及び各地域単位での組織整備に取り組んだ.
- (6) 地域ブロックリーダー会議を開催し, ブロック単位での活動推進などについて協議した.
- (7) 会員への情報提供, 研鑽機会提供などを行った.
- (8) (一社)日本言語聴覚士協会, 都道府県士会と連携し情報交換を行った.
- (9) 新潟県理学療法士会, 新潟県作業療法士会と共に, 第1回新潟県リハビリテーション専門職合同学術大会を実施した.

2. 事務局 <事務局長> 高橋圭三

財務部 <部長> 名古屋千恵子

- (1) 県士会の財務管理を行った.
- (2) 会費の管理と納入督促を行った. また, 未納金に対する対策を検討した.
- (3) 総会において, 会計報告を行った.
- (4) 会計監査に関わる業務を行った.

総務部 <部長> 長井彩香

- (1) 第2回定期総会を開催した.
- (2) 理事会を8回開催した.
- (3) 3役会議を4回開催した.
- (4) 事務局会議を1回開催した.
- (5) 会員について, 入退会など会員在籍事務を行った.
- (6) 刊行物, その他の発送および管理を行った.
- (7) 外部団体との連絡窓口として情報の整理, 配信, 発信を行った.

3. 学術局 <学術局長> 佐藤卓也

教育研修部 <部長> 五十嵐武士

- (1) 学術局会議を3回開催した.
- (2) 学術大会実行委員会を6回開催した.
- (3) 研修会を4回開催した.
- (4) 第7回新潟県言語聴覚士会学術大会を開催した(令和元年6月9日於新潟市).
- (5) 他団体, 他部局と共同し研修会を開催した.

生涯学習部 <部長> 本間桜

- (1) (一社)日本言語聴覚士会生涯学習プログラムの専門講座を1講座開催した.

4. 社会局<社会局長> 斎藤和幸

公益事業部 <部長> 蓮子浩行

- (1) 「新潟福祉機器展(令和元年5月11・12日)」・「健康寿命延伸フォーラム(令和元年10月14日)」・「福祉・介護・健康フェア2019長岡(令和元年12月1日)」に参加した.
- (2) 「言語聴覚の日」の活動も兼ねて「長岡市すこやか・ともしびまつり2019(令和元年9月28・29日)」に参加した.
- (3) 「新潟県民医療推進協議会(健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会)」・「新潟県災害リハビ

リテーション連絡協議会」「食支援多職種連携プロジェクト会議」「長岡市地域包括ケア推進協議会」に参画した。

調査部 <部長> 山田大樹

(1) 会員所属施設便覧をホームページに掲載した。

広報部 <部長> 伊藤綾子

(1) 広報誌を年4回発行した。

(2) ホームページにて会員への情報提供、県士会活動の啓発を行った。

(3) (一社) 日本言語聴覚士協会の「言語聴覚の日」のイベント報告を行った。

(4) (公社) 新潟県理学療法士会、(公社) 新潟県作業療法士会と協力して、高校生の職場体験を実施した。

(5) 新入会員、県士会会員の親睦を深めるための懇親会を開催した。

5. 学校教育連携委員会<委員長>鍛冶山洋

(1) 学校訪問事業の継続(6年目)として4回(4校)の訪問を実施した。

6. 災害対策委員会<委員長>堂井真理

(1) 組織体制・支援体制の構築・連絡系統の整備に取り組んだ。

(2) 災害時のリハビリ支援や協力体制について「新潟県災害リハビリテーション連絡協議会」や「新潟大学医学部災害医療教育センター」など他団体と連携を図った。

(3) 山形県沖地震・台風15号・台風19号の被害状況について情報収集を行った。また日本言語聴覚士協会に災害支援募金を送金した。

7. 地域包括ケアシステム推進委員会<委員長>井上真一

(1) 令和元年度新潟県介護予防活動普及展開事業に参画し、胎内市、新発田市、十日町市、三条市、村上市、魚沼市、小千谷市、弥彦村、阿賀町、五泉市、南魚沼市、阿賀野市、田上町、燕市における「介護予防のための地域ケア個別会議」への助言者派遣を行った。

(2) ブロック代表者を中心とし、各市町村区からの介護予防事業に関わる依頼に対応した。

(3) 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会、新潟県リハビリテーション専門職協議会の活動に参画し、研修会や県民フォーラムを開催した。

(4) ブロック代表者会議を開催した。

貸借対照表

一般社団法人 新潟県言語聴覚士会

令和 2年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	11,934	71,257	△ 59,323
普通預金	2,688,948	2,364,032	324,916
前払費用	129,295	96,960	32,335
流動資産 合計	2,830,177	2,532,249	297,928
2 固定資産			
設立20周年記念事業積立資産	450,090	400,087	50,003
災害対策義援積立資産	4,670	0	4,670
固定資産 合計	454,760	400,087	54,673
資産合計	3,284,937	2,932,336	352,601
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	65,950	0	65,950
前受金	80,000	128,000	△ 48,000
預り金	5,116	0	5,116
流動負債 合計	151,066	128,000	23,066
2 固定負債			
該当なし	0	0	0
固定負債 合計	0	0	0
負債合計	151,066	128,000	23,066
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
2 一般正味財産	3,133,871	2,804,336	329,535
正味財産合計	3,133,871	2,804,336	329,535
負債及び正味財産合計	3,284,937	2,932,336	352,601

正味財産増減計算書

一般社団法人 新潟県言語聴覚士会

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①受取入会金	72,000	62,000	10,000
②受取会費	1,996,000	1,856,000	140,000
正会員受取会費	1,945,000	1,805,000	140,000
学生会員受取会費	1,000	1,000	0
賛助会員受取会費	50,000	50,000	0
③事業収益	707,700	977,900	△ 270,200
④受取補助金	350,000	37,160	312,840
⑤受取寄附金	0	0	0
⑥雑収益	5,007	280,098	△ 275,091
受取利息	7	4	3
雑収益	5,000	280,094	△ 275,094
経常収益計	3,130,707	3,213,158	△ 82,451

科 目	当 年 度	前 年 度	增 減
(2) 經常費用			
①事業費	1,684,233	1,657,720	26,513
消耗品費	41,013	50,474	△ 9,461
旅費交通費	391,696	350,232	41,464
通信運搬費	17,011	19,096	△ 2,085
支払手数料	5,181	4,266	915
会議費	4,800	0	4,800
研修教育費	47,650	0	47,650
印刷製本費	261,665	257,052	4,613
諸謝金	336,271	325,810	10,461
広報費	276,318	5,400	270,918
渉外費	8,640	341,110	△ 332,470
会場費	267,175	250,280	16,895
支払負担金	0	30,000	△ 30,000
支払寄附金	5,000	15,000	△ 10,000
雑費	21,813	9,000	12,813
②管理費	1,116,939	1,195,089	△ 78,150
広報費	0	0	0
消耗品費	74,654	32,370	42,284
租税公課	11,000	0	11,000
渉外費	14,500	20,000	△ 5,500
旅費交通費	276,433	289,079	△ 12,646
通信運搬費	148,947	148,931	16
支払手数料	4,440	4,704	△ 264
会議費	2,800	3,120	△ 320
諸会費	35,000	25,000	10,000
支払寄附金	20,000	0	20,000
研修教育費	1,000	37,160	△ 36,160
印刷製本費	5,650	17,134	△ 11,484
会員管理費	68,915	0	68,915
雑費	453,600	617,591	△ 163,991
經常費用計	2,801,172	2,852,809	△ 51,637
当期經常増減額	329,535	360,349	△ 30,814

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	329,535	360,349	△ 30,814
一般正味財産期首残高	2,804,336	2,443,987	360,349
一般正味財産期末残高	3,133,871	2,804,336	329,535
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	3,133,871	2,804,336	329,535

設立 20 周年記念事業積立報告

	金額
平成23年度分	50,000
利息	4
平成24年度分	50,000
利息	4
平成25年度分	50,000
利息	15
平成26年度分	50,000
利息	25
平成27年度分	50,000
利息	33
平成28年度分	50,000
利息	3
平成29年度分	50,000
利息	2
平成30年度分	50,000
利息	2
令和元年度分	50,000
利息	2
合計	450,090

監査報告書

監査報告

私ども監事2名は、一般社団法人新潟県言語聴覚士会の令和元年度(平成31年4月1日～令和2年3月31日)の業務執行および財産状況につき、監査を実施いたしました。

令和元年度の決算報告書は妥当なものと認めます。

業務執行は、おおむね定款ならびに理事会決議に基づき行われていると認めます。

令和2年5月1日

監事 小林優紀江

監事 大平芳則

(第2号議案 定款の改定に関する件)

新役員、新監事のほか、新役員の数体制を厚くするため、以下の定款の改定を行う。

1) 第25条 本会に、次の役員を置く。

改訂前：(1) 理事 3名以上15名以内

改訂：(1) 理事3名以上25名以内

旧	新
第5章 役員等 (役員の設置) 第25条 本会に、次の役員を置く。 (1) 理事 3名以上15名以内 (2) 監事 2名以内 2 理事のうち1名を会長とする。 3 会長以外の理事のうち、2名以上3名以内を副会長とする。 4 会長及び副会長以外の理事のうち、5名以内を常務理事とすることができる。 5 第2項の会長をもって法人法上の代表理事とする。	第5章 役員等 (役員の設置) 第25条 本会に、次の役員を置く。 (1) 理事 3名以上25名以内 (2) 監事 2名以内 2 理事のうち1名を会長とする。 3 会長以外の理事のうち、2名以上3名以内を副会長とする。 4 会長及び副会長以外の理事のうち、5名以内を常務理事とすることができる。 5 第2項の会長をもって法人法上の代表理事とする。

(第3号議案 新役員を選任に関する件)

令和2年度以降の新役員について、理事は以下の20名、監事は以下の2名とする。なお、会長や副会長などの役職、組織図については、報告1の案とする。

理 事

- | | | |
|----|-------|----------------------|
| 1 | 阿部夕織 | 岩室リハビリテーション病院 |
| 2 | 五十嵐武士 | いいでの里 |
| 3 | 伊藤綾子 | やすらぎ園 |
| 4 | 井上真一 | 脳神経センター阿賀野病院 |
| 5 | 伊原武志 | 長岡赤十字病院 |
| 6 | 鍛冶山洋 | 長岡療育園 |
| 7 | 小林航 | 坂町病院 |
| 8 | 斎藤望 | 川瀬神経内科クリニック |
| 9 | 佐藤厚 | 新潟リハビリテーション大学 |
| 10 | 佐藤卓也 | 新潟リハビリテーション病院 |
| 11 | 塩野綾子 | 総合リハビリテーションセンターみどり病院 |
| 12 | 志塚めぐみ | うおの園 |
| 13 | 高橋圭三 | 新潟リハビリテーション大学 |
| 14 | 田村和子 | 新潟リハビリテーション病院 |
| 15 | 田村俊暁 | 新潟医療福祉大学 |
| 16 | 堂井真理 | 総合リハビリテーションセンターみどり病院 |
| 17 | 長井彩香 | 新潟病院 |

- 18 蓮子浩行 こんの脳神経クリニック
 19 藤井知彦 村上記念病院
 20 本田俊一 木戸病院

監 事

- 1 竹内やよい 新潟リハビリテーション大学
 2 名古屋千恵子 長岡西病院

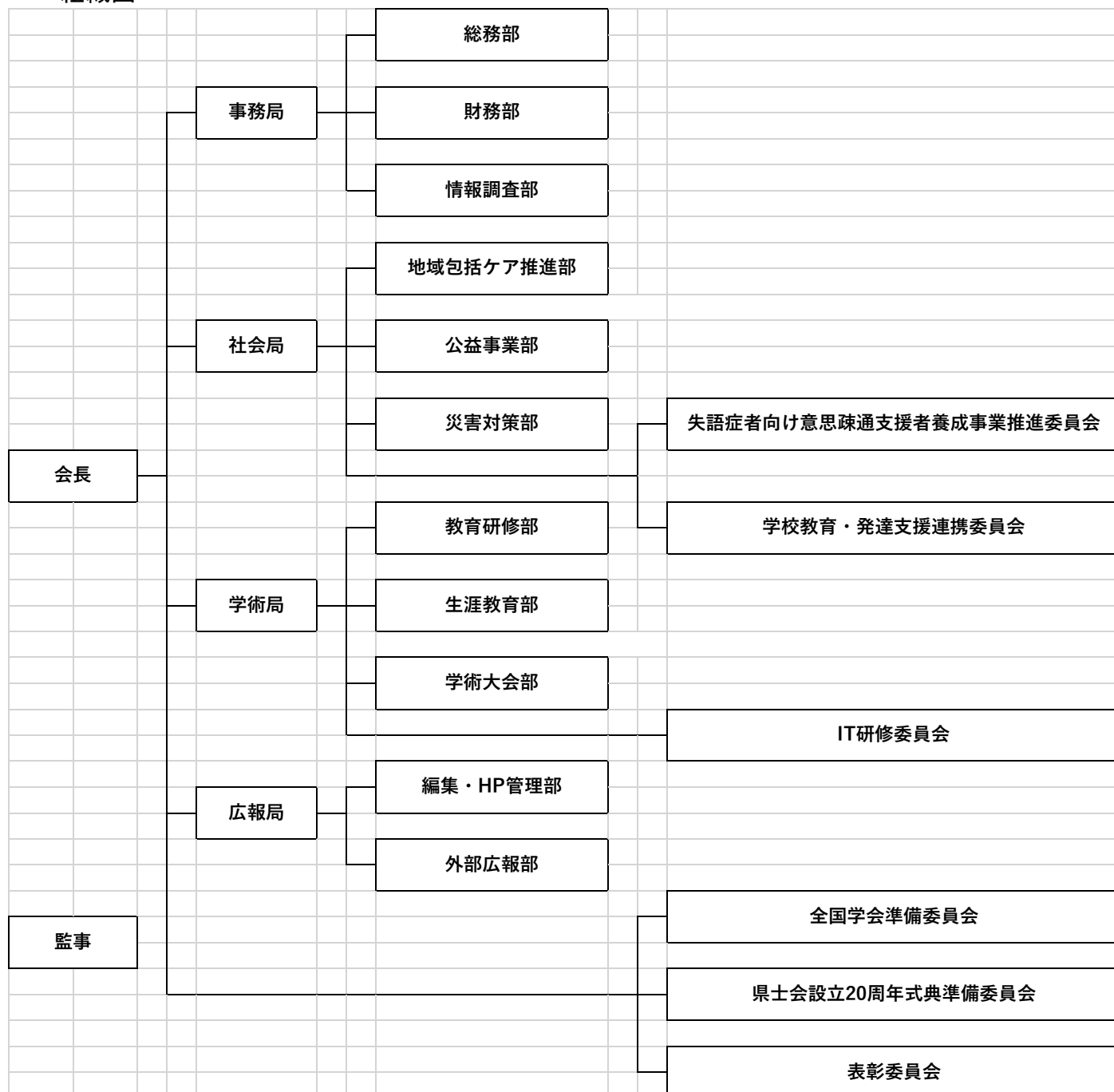
(報告 1 会長、副会長等の選定および新組織体制に関する件)

第 2 号議案にて、新役員が認められた際には、以下の役職および組織図で運営を行う体制とする。

役 職

会長・代表理事	佐藤厚	
副会長・社会局長	井上真一	
副会長・学術局長	佐藤卓也	
副会長・広報局長・災害対策部長	堂井真理	
事務局長	高橋圭三	
総務部長	長井彩香	副部長 伊原武志
財務部長	田村俊暁	
情報調査部長	藤井知彦	
地域包括ケア推進部長	本田俊一	副部長 斎藤望, 阿部夕織
公益事業部長	蓮子浩行	
教育研修部長	五十嵐武士	
生涯教育部長	小林航	副部長 鍛冶山洋
学術大会部長	志塚めぐみ	
編集・HP 管理部長	伊藤綾子	
外部広報部長	塩野綾子	副部長 田村和子
失語症者向け意思疎通支援者養成 事業推進委員長	田村俊暁	
学校教育・発達支援連携委員長	鍛冶山洋	
IT 研修委員長	鍛冶山洋	
全国学会準備委員長	佐藤卓也	
県士会設立 20 周年式典準備委員長	佐藤厚	
表彰委員長	高橋圭三	

組織図



(報告 2 令和 2 年度事業計画および収支予算に関する件)

令和 2 年度事業計画

1. 県士会全体 <会長> 佐藤厚

- (1) 新潟県リハビリテーション専門職協議会，地域包括ケア支援専門職協議会の活動に参画し，地域包括ケアシステムの充実を図る。
- (2) 失語症者向け意思疎通支援者養成事業を推進し，支援者養成指導者研修に 2 名の受講者を派遣するとともに，本県での指導者養成研修を開催する。県との協議を引き続き進めていく。
- (3) 会費増額に伴い，県士会活動に対する日当の支払いを開始する。
- (4) 令和 4 年（2022 年）日本言語聴覚学会開催に向け，実行委員会を開催する。
- (5) 理事会組織の効率化，地域ブロック実効性向上により本会運営の効率化を図る。
- (6) 情報提供，研修機会提供など，会員への利益供与に努める。
- (7) 県民に対し言語聴覚療法，言語聴覚士の知名度拡大に努める。

- (8) (一社) 日本言語聴覚士協会、都道府県士会と連携し情報交換を行う。
- (9) 発達支援、聴覚障害支援について、県とも連携して充実策を検討する。
- (10) 新型コロナウイルス感染症拡大対策に最大限配慮し、最善と思われる活動を流動的に展開する。

2. 事務局 <事務局長> 高橋圭三

財務部 <部長> 田村俊暁

- (1) 県士会の財務管理を行い、活動に関する予算を執行する。
- (2) 行政書士と連携し、一般社団法人としての適切な会計業務を行う。
- (3) 一般社団法人としての適切な税金業務を行う。
- (4) 理事会において予算執行状況を報告する。
- (5) 会費納入督促と管理を行う。また、未納金に対する対策を検討する。
- (6) 定期総会において、会計報告を行う。
- (7) 会計監査に関わる業務を行う。
- (8) 令和3年度の予算案を策定する。

総務部 <部長> 長井彩香

- (1) 定期総会を開催する。
- (2) 理事会、その他会議を開催する。
- (3) 正会員、準会員、学生会員、賛助会員について入退会などの会員在籍事務を行う。
- (4) 刊行物、その他の発送および管理を行う。
- (5) (一社) 日本言語聴覚士協会都道府県士会連絡窓口として情報の収集および提供を行う。
- (6) 各種外部団体との連絡窓口として情報の整理、配信、発信を行う。
- (7) 会員連絡について、会員メールを活用して情報発信を行っていく。

情報調査部 <部長> 藤井知彦

- (1) 診療報酬改定などの情報を収集する。
- (2) 会員等に関するアンケートなどを必要に応じて実施する。

3. 学術局 <学術局長> 佐藤卓也

教育研修部 <部長> 五十嵐武士

- (1) 学術局会議を開催する。
- (2) 研修会等を開催する。
- (3) 県内地域の勉強会関連の情報を収集し、当県士会ホームページで公開する。
- (4) 他団体、他部局と共同し研修会を開催する。
- (5) 臨床に関する相談を受け付け、対応する。

生涯学習部 <部長> 小林航

- (1) (一社) 日本言語聴覚士会生涯学習プログラムに関する情報を提供する。
- (2) (一社) 日本言語聴覚士会生涯学習プログラム基礎講座、および専門講座を開催する。

学術大会部 <部長> 志塚めぐみ

- (1) 学術大会実行委員会を組織し、令和3年度学術大会を企画、運営、開催する。

4. 社会局 <社会局長> 井上真一

地域包括ケアシステム推進部 <部長> 本田俊一

- (1) 介護予防事業において、言語聴覚士の役割、多職種連携の必要性について啓発を行う。
- (2) 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会、新潟県リハビリテーション専門職協議会の活動に参画し、他団体と協同し活動を行う。
- (3) 24 ブロック代表を中心とし、各市町村で開催される「介護予防のための地域ケア個別会議」への助言者派遣調整、介護予防事業に関わる依頼に対応する。
- (4) 新潟県30市町村からの依頼に対応するため、ブロック代表者の拡充を進める。
- (5) ブロック代表者会議を開催する。

公益事業部 <部長> 蓮子浩行

- (1) 「新潟福祉機器展」・「長岡市すこやか・ともしびまつり」・「健康寿命延伸フォーラム」に参画する。
- (2) 関連部署と連携し「言語聴覚の日」の活動を行い、(一社)日本言語聴覚士協会に「言語聴覚の日」のイベント報告を行う。
- (3) 関連諸機関・諸団体との連携や交流を図る。

災害対策部<部長>堂井真理

- (1) 災害時の会員の安否確認・連絡系統の整備・支援体制の整備を見直し、マニュアルを作成する。
- (2) 支援活動・ボランティアに携わる人材育成のための研修を行う。
- (3) 災害に関する情報やボランティア登録の促進にむけて会員に発信する。

失語症者向け意思疎通支援者養成事業推進委員会<委員長>田村俊暁

- (1) 失語症者向け意思疎通支援者養成事業において、新潟県、失語症友の会と連携して事業を推進する。
- (2) 厚生労働省主催の失語症者向け意思疎通支援者養成研修講師養成研修会に会員を派遣する。
- (3) 失語症者向け意思疎通支援者養成研修の令和3年度開催に向けて体制を整える。
- (4) 失語症者向け意思疎通支援者養成研修の講師養成研修を新潟県単位で開催する。
- (5) 失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業に向けて情報を発信していく。

学校教育・発達支援連携委員会<委員長>鍛冶山洋

- (1) 学校訪問事業の継続(7年目)として10回程度の訪問を行う。

5. 広報局 <広報局長> 堂井真理

編集・HP管理部<部長>伊藤綾子

- (1) 会員への情報提供のため、年3回広報誌を発行する。
- (2) ホームページの充実化を図り、情報の啓発に努める。
- (3) 言語聴覚士の理解がより深まる県士会リーフレットの作成を行う。
- (4) 新入会員、県士会会員の親睦を深める懇親会等を企画し開催する。

外部広報部<部長>塩野綾子

- (1) 県民の健康と豊かな生活を支援するため、県民フォーラムを開催する。
- (2) (公社)新潟県理学療法士会(公社)新潟県作業療法士会と連動し、「高校生の職場体験」「言語聴覚士の仕事」について発信する。

令和2年度 予算案

《収入の部》

項目	予算額	摘要
会費		
正会員	3,840,000	10,000円×384名
新入会員	200,000	10,000円×20名
準会員	2,000	2,000円×1名
学生会員	1,000	1,000円×1名
入会金	40,000	2,000円×20名
賛助会費	100,000	10,000円×10社
学術大会参加費	360,000	3,000円×120名
活動支援金	50,000	日本語聴覚士協会より
20周年記念事業積立金(一部)	140,000	
前年度繰越金	3,133,871	
収入合計	7,866,871	

《支出の部》

項目	予算額	摘要
事務局	1,985,000	
総務部		
財務部		
情報調査部		
通信費	200,000	約2300通×84円、切手等代10000円
名刺作成費	10,000	
印刷費	50,000	資料等印刷代(30000円)、モバイルプリンター代(約20000円)
事務用品費	9,000	
交通費	300,000	
雑費	10,000	
理事等出張費	200,000	
他団体協力費	15,000	会員費、お祝いなど
総会費用	5,000	
行政書士への外注費	444,000	
定款変更に伴う費用	50,000	登記料10000円程度、行政書士委託料40000円
税金	50,000	
会員証作成費	10,000	新規分のみ
クラウド利用料	0	3年分を2019年に購入したため
封筒印刷代	50,000	角2封筒代4000部約50000円
日当	532,000	延べ266人×半日2000円; 532000
	50,000	会員アンケートに必要な費用
学術局	1,264,000	
学術局会議費	76,000	交通費40,000円, 日当36,000円
教育研修部	228,500	
講師謝礼	75,000	高次脳関連30,000円, 小児関連45,000円
講師交通費	70,000	高次脳関連40,000円, 小児関連30,000円
講師宿泊費	10,000	高次脳関連10,000円
スタッフ交通費	28,000	高次脳関連8,000円, 小児関連20,000円
スタッフ日当	34,000	高次脳関連16,000円, 小児関連18,000円
資料印刷費	10,000	高次脳関連5,000円, 小児関連5,000円
会議費	1,500	小児関連1,500円
生涯教育部	236,000	
講師謝礼	90,000	専門講座謝礼30,000円, 基礎講座謝礼4名分60,000円
講師交通費	100,000	専門講座交通費90,000円, 基礎講座交通費10,000円
講師宿泊費	10,000	専門講座宿泊費10,000円
スタッフ交通費	5,000	専門講座・基礎講座同時開催回分
スタッフ日当	16,000	専門講座・基礎講座同時開催回分
資料印刷費	15,000	企画3本合計
学術大会部	665,500	
実行委員会会議	171,500	交通費59,500円, 日当112,000円
会場費(備品使用料込)	190,000	会場費150,000円, 会場設備費40,000円
講師謝礼	90,000	特別講演謝礼30,000円, シンポジウム謝礼60,000円
講師交通費	25,000	特別講演講師
講師宿泊費	10,000	特別講演講師
スタッフ日当	100,000	4,000円×25人分
印刷費	70,000	抄録, ポスター, 発表証明書等
賞品費	8,000	図書カード
会議費(お茶等)	1,000	特別講演, シンポジウム
IT研修委員会	38,000	
分担予算拠出費	30,000	OT士会と分担
日当	8,000	1日分のみ
備品	20,000	
消耗品	20,000	

社会局	548,110	
地域包括ケア推進部		
ブロック代表者会議	134,610	
交通費	46,620	ブロックリーダー交通費(ブロックリーダー23名分)
会議日当	46,000	23名1人2000円
会場費	21,120	ときめいと(1H5280円×4H)
資料印刷費	10,000	通信費・印刷費
雑費	10,870	会議付随費・用品費
公益事業部	155,500	
イベント経費	143,500	協力費・消耗品、風船代
交通費	5,000	部会
通信費	7,000	宅急便代
災害対策部	86,000	
研修会費	50,000	会議費・研修会開催費用
会議日当	26,000	13名分1人半日2000円
交通費	10,000	委員会
失語症者向け意思疎通支援者養成事業推進委員会	105,000	
研修会費	20,000	伝達講習会を1回開催
交通費	10,000	会議2回(1開催5名)1人1000円、理事は理事会交通費にて処理
資料等印刷費	5,000	R1年の研修会資料複写など
R2年度講師養成研修会講師派遣費用	38,000	1名分 1人交通費20,000円・宿泊費2泊18,000円
会議日当	32,000	会議2回(1開催8名)1人2000円
学校教育・発達支援連携委員会	67,000	
学派遣事業講師派遣費用	50,000	学校訪問5,000円×10回
委員交通費	16,000	会議(3人計8,000円×2回)
研修会資料	1,000	資料印刷費
広報局	655,000	
編集・HP管理部	230,000	
	20,000	新人歓迎会補助費
	10,000	リーフレット発送代
	33,000	リーフレット印刷代(500部)
	148,000	広報誌印刷代(12頁×1回、8頁×2回)
	19,000	HPサーバー代
外部広報部	425,000	
	50,000	県民向け公開講座会場費(会場、ステージ、吊り看板、展示パネル)
	50,000	県民向け公開講座講師謝礼
	25,000	県民向け公開講座講師交通費
	40,000	県民向け公開講座スタッフ交通費・日当
	200,000	県民向け公開講座広告費
	60,000	外部広報企画会議(年3回)交通費・日当
特別委員会	205,000	
全国学会準備委員会	55,000	
	45,000	会議時交通費・日当
	10,000	印刷費
県士会設立20周年記念式典準備委員会	140,000	
20周年記念事業会議交通費	60,000	8人×5回分、1人1500円
20周年記念事業日当	80,000	8人×半日2000円×5回
表彰委員会	10,000	
資料作成費	10,000	
積み立て金	75,000	
20周年事業	50,000	
災害対策積立金	25,000	
予備費	3,134,761	
支出合計	7,866,871	

(報告3 新型コロナウイルス感染拡大に伴う本会の方針に関する件)

この度のCOVID-19感染拡大や行政からの非常事態宣言発令に伴い、新潟県言語聴覚士会では本年度事業について下記のように予定・実施している。

- (1) 令和2年度学術大会は中止とし、次年度への繰り越し開催とした。
- (2) 令和2年度定時総会は書面での開催・評決とした。
- (3) 令和2年度9月まで、研修会など多人数の集まる事業は行わないこととした。10月以降は今後の状況を考慮しながら判断を進めていく。
- (4) 理事会などは状況を見ながら、必要に応じweb上での会議も取り入れながら柔軟に対応する。
- (5) 今回の非常事態宣言や感染症拡大による会員の生活上、業務上の影響について調査が必要と判断し、全会員に対してアンケートを実施することにした。
- (6) 地域ケア会議への会員派遣については、今年度は全ての会議への派遣は困難な状況になっていることを関係団体に伝えた。
- (7) 今後の事業について、行政や他団体とも必要に応じて協議し、会員の健康を第一に考えて判断し、速やかな情報提供を行っていく。

【その他資料】

(1) 令和元年度活動記録

日時	内容	会場	出席理事・監事等
【4月】	11日	第7回学術大会第6回実行委員会	新潟市 佐藤卓也、他委員6名
	12日	第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会準備委員会	新潟市 堂井、小林航、遠藤直人
	16日	新発田市地域ケア個別会議	新発田市 宮澤由衣
	23日	第2回新潟県地域包括ケア支援専門職協議会実行委員会	新潟市 井上
	25日	村上市地域ケア個別会議	村上市 藤井和彦
	27日	第1回学術局会議	新潟市 佐藤卓也、本間桜、他局員6名
	27・28日	第10回訪問リハビリテーション地域リーダー会議 広報誌 next Stage 72号発行	東京都 齋藤(望)
【5月】	11・12日	新潟福祉機器展	新潟市 堂井、蓮子、山田、他1名
	15日	第3回新潟県地域包括ケア支援専門職協議会実行委員会	新潟市 井上
	18日	令和元年第1回理事会会議	新潟市 理事13名、監事1名
	21日	新発田市地域ケア個別会議	新発田市 滝澤郁菜
	23日	新潟県リハビリテーション専門職協議会基金研修	新潟市 本間、井上
	23日	胎内市地域ケア個別会議	胎内市 会田生也
	24日	三条市地域ケア個別会議	三条市 齋藤(望)
	24日	十日町市地域ケア個別会議	十日町市 田辺靖典、齋藤(和)
	25日	日本語聴覚士協会令和元年度定時社員総会	東京 佐藤会長
	28日	小千谷市地域ケア個別会議	小千谷市 五十嵐春奈
	28日	長岡市地域リハビリテーション活動支援事業関係者会議	長岡市 伊藤、齋藤(和)
	30日	第7回学術大会第7回実行委員会	新潟市 佐藤卓也、他委員6名
	31日	長岡市多職種全体交流会	長岡市 齋藤(和)、熊谷亜樹、伊原
【6月】	1日	令和元年第2回理事会会議	新潟市 理事12名、監事1名
	4・17日	新潟県地域包括ケア支援専門職協議会実行委員会	新潟市 井上真一
	8日	新潟福祉まちづくり研究会発足記念研修会	新潟市 井上、佐藤(卓)
	9日	第7回新潟県言語聴覚士会学術大会 (一社)新潟県言語聴覚士会第2回総会	新潟市 参加者132名
	9日	第1回 2019年度失語症者支援者養成事業検討会議	新潟市 佐藤会長、名古屋、田村、他4名
	17日	弥彦村地域ケア個別会議	弥彦村 宮路昌
	18日	新潟県リハビリテーション専門職協議会 基金研修WG	新潟 井上
	18日	新発田市地域ケア個別会議	新発田市 五十嵐武士
	20日	三条市地域ケア個別会議	三条市 齋藤(望)
	20日	村上市地域ケア個別会議	村上市 高橋
	21日	十日町市地域ケア個別会議	十日町市 齋藤(和)
	27日	胎内市地域ケア個別会議	胎内市 会田生也
	27日	令和元年度春期都道府県士会会長会議、学校教育連携担当者会議	大分県 佐藤会長

日時	内容	会場	出席理事・監事等
【7月】	3日	第1回新潟県リハビリテーション専門職学会大会準備委員会	新潟市 小林航、遠藤直人、佐藤卓也、堂井
	11日	新潟県福祉保健部障害福祉課訪問 失語症者向け意思疎通支援者養成事業	新潟市 桑原(地域福祉課)、佐藤会長、田村
	11日	新潟県リハビリテーション専門職協議会田中まさし応援集会	新潟市 佐藤会長、井上、堂井、佐藤(卓)
	11日	三役会議	新潟市 佐藤会長、井上、堂井、佐藤(卓)、高橋
	16日	新潟県リハビリテーション専門職協議会	新潟市 井上
	16日	新発田市地域ケア個別会議	新発田市 武石さつき
	17日	魚沼市地域ケア個別会議	魚沼市 松木恭子
	17日	三条市地域ケア個別会議	三条市 斎藤(望)
	20日	令和元年度新潟県言語聴覚士会第1回研修会	新潟市 参加者25名
	21日	福島県言語聴覚士会「失語症者向け意思疎通支援者養成事業」説明会	福島県郡山市 佐藤会長
	21日	薬剤師会在宅医療スキルアップ研修	新潟市 堂井
	23日	小千谷市地域ケア個別会議	小千谷市 五十嵐春奈
	24日	新潟県地域包括ケア支援専門職協議会	新潟市 井上
	25日	胎内市地域ケア個別会議	胎内市 星野侑里花
	25日	阿賀町地域ケア個別会議	阿賀町 伊藤晃
	26日	第1回新潟県リハビリテーション専門職学会大会準備委員会	新潟市 堂井、小林航、遠藤直人
27日	令和元年度新潟県言語聴覚士第2回研修会	長岡市 参加者49名	
31日	第5回新潟県災害リハビリテーション研修会打ち合わせ会議	新潟市 堂井	
	広報誌 next Stage 73号発行		
【8月】	19日	弥彦村地域ケア個別会議	弥彦村 阿部夕織
	20日	新発田市地域ケア個別会議	新発田市 五十嵐武士
	22日	新潟県リハビリテーション専門職協議会基金研修WG	新潟市 井上
	22日	村上市地域ケア個別会議	村上市 梅田貴
	22日	胎内市地域ケア個別会議	胎内市 増田直樹
	24日	令和元年第3回理事会 会議	新潟市 理事12名、監事1名
	25日	第1回多職種連携に向けた勉強会	長岡市 斎藤和
	26日	南魚沼市介護予防地域ケア個別会議	南魚沼市 齋藤和
	26日	三条市介護予防地域ケア個別会議	三条市 齋藤望
30日	野田忠先生 瑞宝中綬章受章記念祝賀会	新潟市 佐藤会長	
【9月】	1日	認知症フォーラムin長岡	長岡市 斎藤和
	5日	新潟県地域包括ケア支援専門職協議会意見交換会・懇親会	新潟市 佐藤会長、井上
	10日	新潟県自立支援協議会出席	新潟市 佐藤会長
	11日	県央地区食支援研修会	三条市 堂井、斎藤望、参加者ST2名
	17日	新発田市介護予防地域ケア個別会議	新発田市 武石さつき
	18日	新潟県地域包括ケア支援専門職協議会実行委員会	新潟市 井上
	19日	三役会議開催(検討事項含む)	新潟市 佐藤会長、井上、堂井、佐藤(卓)、高橋
	19日	食支援多職種連携プロジェクト会議	新潟市 堂井
	20日	十日町市介護予防地域ケア個別会議	十日町市 丸山志織
	24日	小千谷市介護予防地域ケア個別会議	小千谷市 齋藤和
	24日	介護予防のための地域ケア個別会議助言者スキルアップ研修会	新潟市 齋藤望、参加者ST5名
	26日	胎内市介護予防地域ケア個別会議	胎内市 池田一之亮
26日	新潟県リハビリテーション専門職協議会 基金研修WG	新潟市 井上	
30日	第1回新潟県リハビリテーション専門職学会大会準備委員会	新潟市 小林航、遠藤直人、佐藤卓也、堂井	
【10月】	1日	第8回学会大会第1回実行委員会	新潟市 佐藤(卓)、他委員6名
	12日	令和元年度第4回理事会会議	新潟市 理事12名、伊原
	12日	令和元年度地域ブロックリーダー会議	新潟市 理事12名、ST11名
	14日	健康寿命延伸フォーラム	新潟市 堂井・山田・蓮子
	15日	新発田市介護予防地域ケア個別会議	新発田市 武石さつき
	17日	村上市介護予防地域ケア個別会議	村上市 藤井和彦
	18日	南魚沼市介護予防地域ケア個別会議	南魚沼市 齋藤和
	18日	十日町市介護予防地域ケア個別会議	十日町市 田辺靖典
	20日	障がい者IT活用サポーター養成講座①	新潟市 鍛冶山洋、高橋卓 参加者ST1名
	21日	三条市介護予防地域ケア個別会議	三条市 丸山志織
	21日	弥彦村介護予防地域ケア個別会議	弥彦村 宮路昌
	23日	阿賀野市介護予防地域ケア個別会議	阿賀野市 伊藤晃
	23日	第1回新潟県リハビリテーション専門職学会大会準備委員会	新潟市 小林航、遠藤直人、堂井
	24日	胎内市介護予防地域ケア個別会議	胎内市 会田生也
	26日	新潟県医師会設立記念大会	新潟市 井上
	27日	令和元年度第3回研修会(専門講座)	新潟市 ST30名
	26・27日	厚生労働省委託事業 一般社団法人日本言語聴覚士協会主催の失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修	東京都 名古屋、伊藤さゆり
	27日	第2回新潟県地域包括ケア支援専門職協議会	新潟市 井上、ST6名
	27日	第2回学術局会議	新潟市 佐藤卓也、本間桜、他局員6名
	27日	第5回新潟県災害リハビリテーション研修会	新潟市 古川祐樹
30日	新潟県地域包括ケア支援専門職協議会実行委員会会議	新潟市 井上	

日時	内容	会場	出席理事・監事等	
【11月】	1日	新発田市介護予防地域ケア個別会議	新発田市 井上	
	2日	秋期都道府県士会長会議	東京都 佐藤会長	
	5日	第8回学術大会第2回実行委員会	新潟市 佐藤卓也、他委員6名	
	5日	第2回 2019年度失語症者支援者養成事業検討会議	三条市 田村、永井直子	
	7日	第2回長岡市地域包括ケア推進協議会	長岡 斎藤和	
	10日	障がい者IT活用サポーター養成講座②	新潟市 鍛冶山洋、高橋卓 参加者ST1名	
	12日	五泉市介護予防地域ケア個別会議	五泉市 伊藤晃	
	14日	長岡市多職種交流会(とちお地区)	長岡市 斎藤和	
	14日	魚沼市介護予防地域ケア個別会議	魚沼市 松木恭子	
	14日	三役会議	新潟市 佐藤会長、井上、堂井、佐藤(卓)、高橋	
	15日	十日町市介護予防地域ケア個別会議	十日町市 丸山志織	
	15日	第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会準備委員会	新潟市 小林航、遠藤直人、堂井	
	16日	リハビリ専門職協議会	新潟市 佐藤会長	
	16日	令和元年度新潟県訪問リハビリテーション実務者研修会	長岡市 参加者35名 ST2名	
	19日	新発田市介護予防地域ケア個別会議	新発田市 滝澤郁菜	
	20日	新潟県専門職協議会基金研修WG	新潟市 本間、井上	
	22日	三条市介護予防地域ケア個別会議	三条市 永井直子	
	23日	新潟県地域包括ケア支援専門職協議会主催 県民フォーラム	新発田市 井上	
	24日	新潟県専門職協議会基金研修WG主催 6職種対象合同研修会	三条市 井上	
	25日	食支援多職種連携プロジェクト会議	新潟市 堂井、佐藤卓也	
	26日	小千谷市介護予防地域ケア個別会議	小千谷市 五十嵐春奈	
	28日	田上町 介護予防地域ケア個別会議	田上町 斎藤和	
	28日	胎内市介護予防地域ケア個別会議	胎内市 星野侑里花	
	29日	長岡市多職種交流会(なかじま・おもてまち地区)	長岡市 伊原	
	30日	第5回北関東信越ブロック学会/第16回新潟県作業療法学会開会式	長岡市 佐藤会長	
		広報誌 next Stage 74号発行		
	【12月】	1日	福祉・介護・健康フェア2019	長岡市 齋藤(和)理事、伊藤理事
		3日	長岡市地域リハビリテーション活動支援事業第1回口腔機能向上教室	長岡市 伊藤理事・斎藤和出席
		9日	新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会	新潟市 佐藤会長
		12日	阿賀野市介護予防地域ケア個別会議	阿賀野市 伊藤晃
13日		燕市介護予防地域ケア個別会議	燕市 斎藤和	
14日		第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会開会式列席	新潟市 佐藤会長	
14・15日		第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会	新潟市 参加者636名 ST54名	
16日		弥彦村介護予防地域ケア個別会議	弥彦村 阿部夕織	
17日		新発田市介護予防地域ケア個別会議	新発田市 五十嵐武士	
17日		長岡市地域リハビリテーション活動支援事業第3回口腔機能向上教室	長岡市 斎藤和	
19日		村上市介護予防地域ケア個別会議	村上市 高橋圭三	
20日		三条市介護予防地域ケア個別会議	三条市 斎藤望	
20日		十日町市介護予防地域ケア個別会議	十日町市 斎藤和	
20日		第3回 2019年度失語症者支援者養成事業検討会議	新潟市 佐藤会長、名古屋、田村、他5名	
21日	第5回理事会会議	新潟市 理事12名、伊原		
26日	胎内市地域ケア個別会議	胎内市 増田直樹		
【1月】	17日	十日町市介護予防地域ケア個別会議	十日町市 田辺靖典	
	17日	燕市介護予防地域ケア個別会議	燕市 斎藤和	
	21日	新発田市地域ケア個別会議	新発田市 武石さつき	
	22日	新潟県リハビリテーション専門職協議会 基金研修WG	新潟市 本間、井上	
	23日	三役会議	新潟市 会長、副会長、事務局長	
	23日	胎内市地域ケア個別会議	胎内市 池田一之亮	
	24日	三条市介護予防地域ケア個別会議	三条市 田辺政雄	
	25日	新潟県医師会医療政策講演会	新潟市 佐藤会長、堂井	
	26日	新潟県リハビリテーション専門職協議会 基金研修WG主催研修会	胎内市 井上	
	28日	小千谷市介護予防地域ケア個別会議	小千谷市 五十嵐春奈	
	28日	第3回長岡市地域リハビリ活動支援事業関係者会議	長岡市 伊藤理事、斎藤和理事	
30日	田上町介護予防地域ケア個別会議	田上町 斎藤和		

日時	内容	会場	出席理事・監事等
【2月】	1日 第6回理事会会議	新潟市	理事13名、伊原
	3日 新発田市介護予防地域ケア個別会議	新発田市	井上
	4日 長岡地域における「言語聴覚士会・栄養士会と歯科医師会との連携会議」	長岡市	斎藤和
	5日 三条市自立支援型地域ケア個別会議助言者向け研修会	三条市	永井直子
	7日 新潟県リハビリテーション専門職協議会	新潟市	佐藤会長 井上
	17日 弥彦村介護予防地域ケア個別会議	弥彦村	宮路昌
	18日 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会	新潟市	井上
	18日 新発田市介護予防地域ケア個別会議	新発田市	武石さつき
	18日 五泉市介護予防地域ケア個別会議	五泉市	伊藤晃
	20日 村上市介護予防地域ケア個別会議	村上市	梅田貴
	21日 十日町市介護予防地域ケア個別会議	十日町市	田辺靖典
	21日 三条市介護予防地域ケア個別会議	三条市	永井直子
	23日 新潟県リハビリテーション専門職協議会主催 研修会	新潟市	井上、ST9名
	25日 第8回学術大会第3回実行委員会	新潟市	佐藤卓也、他委員7名
	26日 食支援多職種連携プロジェクト会議	新潟市	堂井、佐藤卓
	27日 胎内市介護予防地域ケア個別会議	胎内市	星野
	27日 阿賀町介護予防地域ケア個別会議	阿賀町	伊藤晃
29日 第3回学術局会議	新潟市	佐藤卓也、本間桜、他局員7名	
	広報誌 next Stage 75号発行		
【3月】	7日 第7回理事会会議	新潟市	理事8名
	17日 第8回学術大会第4回実行委員会	新潟市	佐藤卓也、他委員6名

以上